

平成 30 年 11 月吉日

JOPA セミナーをご受講される皆様へ

拝啓 清秋の候、皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

これまでに皆様にお伝えしておりました通り、今年の秋より JOPA セミナーはこれまでの膜シリーズを一新し、新企画のセミナー構成で皆様にご技術を御伝え致します。その中で、「脊柱・骨盤マニピュレーション」コースにつきましては、新シリーズにおいても現行のセミナーを一部リニューアルした形で引き続き開催させていただきます。

脊柱や骨盤は、身体を支えるための最も大切な支柱でもあります。そして、この分野を扱うためには、脊柱や骨盤が正確に触診でき、どこにどういった治療をするのかモーションパルペーションを行った上で評価が出来なければ効果を出すことは難しいでしょう。しかし、十分な訓練をしなかったが為に、正確な評価が出来ずに違ったところをマニピュレーションすることで、逆に症状を悪化させてしまうことが一般的に多く見受けられます。

マニピュレーションで医療過誤が多いのがこの分野です。そして、よく「危険だ」・・・等とも言われます。しかしながら、この分野においても熟練された講師によって基礎から「触診」と「モーションパルペーション」そして「評価」を学び、訓練をした上で用いると、治療時間は短縮され劇的な効果を生むのもまた事実であり、危険なく安全に治療できます。当協会は豊富な講師陣の中からでも特にこの分野において選りすぐれた者を講師としています。

このコースも他のコースと同様、触診とモーションパルペーション、そして「フライエットの法則」などを学び「評価」をする「脊柱・骨盤の触診と評価」セミナーからスタートします。これによってこの脊椎骨（関節）を治療すれば良いのかが理解できるようになります。

その後、「フライエットの法則」と筋の収縮を用いた「マッスル・エナジーテクニック (MET)」という直接法ながら痛みも危険性も全くないテクニックから技術を学び始め、次のステップとしてインダイレクトテクニック (間接法) へと段階を追って進めるようにしています。更に、中級コースには、「HVLA」もご用意しています。従って、学びたい方も迷っておられる方も、どうぞ安心して学んでください。

多くの皆様のご参加をお待ちしております。

敬具

JOPA 会長 下村 彰慶